135年を超える
セイコー事業の系譜

セイコーは、1881年の創業以来、「常に時代の一歩先を行く」という精神を貫き、
革新的な製品を提供し続け、時代とハートを動かしてきました。
さらに、こうした製品をつくるために必要となるものを自ら創り、世の中に送り出してきました。

● 1900年　● 1960年代　● 1970年代　● 1980年代　● 1990年代　● 2000年代　● 2010年代

1913年
国産初の腕時計
ローレル発売

時計製造
技術の深化

1960年
世界最高レベルの
精度を誇る
腕時計
グランドセイコー
発売

1968年
スイス・ジュネーブのコンクールで
機械式の上位を独占

クオーツウオッチ開発

1969年
世界初のクオーツウオッチ
クオーツアストロン発売

無線技術の
時計生産管理への応用

時計設計
技術の応用

1930年
日本初のカメラ用
シャッタを製造

汎用円筒研削盤
開発

精密加工技術の発展

1970年
アメリカのベンチャー企業と
共同でCMOS-IC第1号完成

サーマル
プリンタメカ
開発

水晶振動子、
酸化銀電池開発

リチウム
二次電池
開発

ウオッチ技術の応用
（ネットワーク化）

1999年
世界初のスプリング
ドライブウオッチ発売

2004年
高級機械式腕時計の
一貫生産を行う
雫石高級時計工房
を開設

2017年
グランドセイコーの
独立ブランド化
を発表

機械式と
クオーツの融合

2012年
世界初GPS
ソーラーウオッチ
セイコー アストロン発売

機械式
スプリングドライブ
クオーツ
GPS

ウオッチ
事業

自動車用
精密加工部品開発

ハードディスク
ドライブ用部品開発

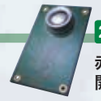
インクジェット
プリントヘッド
開発

メカトロ
プリンタ
電子部品

電子デバイス
事業

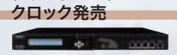
1989年
デジタル
フィルタIC
開発

2005年
水銀・鉛を使わない
無水銀酸化銀電池を開発



2017年
赤外線センサ
開発

2015年
グランドマスター
クロック発売



2013年
LTE/3G対応
無線ルーター発売

1983年
マルチプロトコル
コンバータ発売

1999年
高精度標準時刻サーバ
Time Server発売

2002年
タイムスタンプ
サービス開始

SEIKO Cyber Time

時刻とネットワーク
IoT
決済センター
外食産業向け
システム性能管理

システム
ソリューション
事業

1970年
リアルタイム
オンラインシステム発売

時計生産管理技術の応用
（オンラインシステム化）

BUILTALK
1980年
総合ビル管理システム発売

無線技術の応用

1985年
世界初の外食産業用
オーダリングシステム
発売

無線技術の応用

2007年
タクシー向け
マルチ電子
決済サービス開始

1999年
日本初の無線カード決済サービス
CREPiCO（クレピコ）開始

2016年
オーダリング
連携サービス開始

Linkio

1988年
（株）アイ・アイ・エム設立
ES/1 NEO発売

2017年
（株）アイ・アイ・エムを
グループに迎え入れる

クオーツ技術の発展

1892年
掛時計の製造開始

1968年
世界初の
家庭用クオーツ
掛時計発売

1984年
音声時計
ピラミッドトーク発売

1999年
電波修正クロック
発売

無線技術
の応用

2014年
世界初の家庭用
衛星電波クロック
スペースリンク発売

クロック

1881年
創業

1964年
東京オリンピックで
公式計時を務める
（以降5大会担当）

1987年
IAAF世界陸上ローマで
公式計時を務める
（以降継続して担当）

2011年
SEIKOロゴを掲げ
グループの旗艦店に

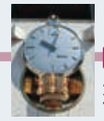
小売

1894年
初代時計塔

1932年
現在の
時計塔竣工

大型設備時計の発展

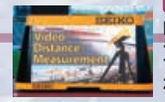
1970年
大阪万博で
世界初の
無線式
電波時計
を設置



1984年
大型設備時計
マリオンクロック設置

設備時計の多様化

2007年
東京マラソンで
公式計時を務める
（以降継続して担当）



2013年
IAAF世界陸上2013
モスクワで導入した
フィールドイベント
ボードとVDMの画像

設備時計／
スポーツ計時計測